

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 オフィス	日本語表現学	井上 新甫	1 年次	春

授業のキーワード	日本語の美しさ、書く習慣と自己表現。
授業の概要	授業は、礼で始まり礼で終わります。学問は身心で会得してこそ役立ちます。礼節を重んずるのはその始め。今や国語能力の低下が著しく、日本人としての思考力、判断力、気概や誇りや勇気の有無に影響します。
期待される学習成果（目標）	言葉は心の声。美しい人格は美しい言葉から生まれます。知識の学問ではなく、すぐに役立つ活きた学問と教養を身につけることができます。実社会ですぐに役立ちます。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	日本国と日本語	日本語は美しい。わが国は「言霊（ことだま）の幸（さきわ）う国」です。その床しさを知ります。	第 9 講	文章の基本形を学ぶ④	新聞記事を実際書いてみます。添削して返却します。
第 2 講	言葉とは何か	日本は言霊の幸（さきわ）う国。	第 10 講	文章の基本形を学ぶ⑤	新聞記事を実際書いてみます。添削して返却します。
第 3 講	表現学とは実学あるのみ①	手紙を実際書いてみます① 添削して返却します。	第 11 講	感性・情操を養う①	新聞コラムを読み考えます。
第 4 講	表現学とは実学あるのみ②	手紙を実際書いてみます② 添削して返却します。	第 12 講	感性・情操を養う②	新聞コラムを読み考え、感想を書きます。
第 5 講	表現学とは実学あるのみ③	手紙を実際書いてみます③ 添削して返却します。	第 13 講	古典と人生	①孝は徳の本なり。感想文。
第 6 講	文章の基本形を学ぶ①	新聞記事は文章の基本。その文章構成を習います。 添削して返却します。	第 14 講	古典と人生	②孝は徳の本なり。感想文。
第 7 講	文章の基本形を学ぶ②	新聞記事を実際書いてみます。 添削して返却します。	第 15 講	古典と人生	謙虚はあらゆる善の基。傲りはあらゆる悪の始め。
第 8 講	文章の基本形を学ぶ③	新聞記事を実際書いてみます。 添削して返却します。	定期試験		記述式
評価方法	定期試験 100%。ただし、授業中の手紙や記事などの出来栄は考慮します。授業中の積極的な発言もプラスして評価、マイナス評価はしません。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
毎回、レジュメを配布する。すべて現実に即した内容だから変化します。既成のマニュアル本は使いません。			できるだけ多くの本を読みます。		